

九州放送機器展2024が開催 最新のソリューション披露

バーチャルプロダクション実演も



池上通信機は、新製品HDポータブルカメラシステム「HDK-X500」や、最新マルチバンド対応一体型FPU送信機「PF-903H」、B71対応小型FPU送信機「PP-87」、多彩な機能を有する液晶モニター18.5型「HLM-1860WR」と24型「HLM-2460WA」を九州初展示



パナソニック コネクト出展のIT/IPプラットフォーム「KAIVOS」は、GPUで映像処理をすることで、ME数やKEY数に制約されないマルチレイヤー構成や、解像度・画角にとらわれない「CANVAS」スクリーンなど、自由な映像制作を可能とする



朋栄は既存MoIPシステムのRDSやブロードキャストコントロールを変換することなく、NMOSリソースの共有を実現する、NMOS ソフトウェアSOM-200RDSとSOM-200RDS Plusを活用した階層型RDSを実演



ビジュアル・グラフィックス(VGI)が6月にリリースしたSaaS型メディアマネージメントサービスVGI Massは、映像制作に最適化したアセット管理とコラボレーション機能、ファイル共有サービスを実現



ルミネックスジャパンは出展者セミナーにて、高度なAVネットワークを簡単にする、箱から出してつなげるだけで、音響、映像、照明の異なるネットワークの集約を実現するイーサネットスイッチを説明



Luminex「GigaCore」イーサネットスイッチは、「Araneo」ソフトウェアを使うことで、ネットワークを可視化し、管理、監視、デザインまでが可能になる



カメラコーナーには池上通信機UH-K-X700、ソニーBU RANO MPC-2610(三友出展)、キヤノンCN8×15 IAS S/P1、ブラックマジックデザインURSA Broadcast G2が並んだ



展示会場



今年の屋外展示は、ストロベリーメディアアーツのビジョンランナー(右)に加え、モンブラン・レクチャーズによる移動式3Dライドプロダクション(中央)、筑豊アクションプロジェクトによる「帰ってきた あぶない刑事」使用バトカーが展示。同プロジェクトは、爆破&カーチェイス可能なアクション映画撮影の環境を作り、国内外へロケ誘致に動く



伊藤忠ケーブルシステムがデモしたAWSクラウド連携可能な素材アーカイブシステム「CERCA」は、ニシコン報道支援システムJaprsからの指示でMAMに取り込まれた取材マザー・回収収録素材を、クラウドへ自動バックアップ



シーマは、滑らかな映像美を演出できる0.9-1.9mmピッチの高精細モデルや、シースルータイプ、インタラクティブ機能内蔵のフロアLEDなど、多様な常設案件に対応したLEDディスプレイで九州初出展

九州地区最大のプロフ
エッショナル向け放送
業務用機器展「九州放送
機器展2024」(略称
・QBE、主催・日本ホ
ストプロダクション協会
「JPPA」)が7月17
18日の2日間、福岡市の
福岡国際センターで開催
された。今年も天候に恵
まれ、2日間の真夏日の
下での来場者数は266
6人と発表があった。昨
年比+3.4人のこの数
字は、安定した来場が
ことを示している。約
140社の出展者は、昨
年より31.4%多い。
恒例のJPPAの三上
信二会長の開会あいさつ
から始まったオープニ
ングセレモニーには、総務
省九州総合通信局の中西
悦子局長が招かれ、放送
設備のクラウドマスタ
ーセミナーでは、背景
のLEDパネルに映す素
材制作に、生成AIを使
う手法が加えられた。
セミナーは、韓国ホス
セブスターは、韓国ホス
トプロに進む生成AIの
活用や、国内放送局のV
P現状報告などのテー
マで盛況に開かれていた。



入場口には協力企業ストロベリーメディアアーツ(山口県下関市)提供によるゲート型LEDが設置



テープカット



メインステージのバーチャルプロダクション。背景LEDパネルは新協社、照明は九州ハートのそれぞれ地元福岡市の協力企業が提供。



レスターはAVID、SGOなど編集・クラウド収録ソリューション、AI自動モザイク作成プラグイン(ISP SmartMP)を出展



レスターと共同出展のタックスシステムのブースでは、Avid Pro Tools最新バージョン、ADDER IP-KVMマトリクスシステム、高品位なDSP搭載マイクプリ「STAG ETEC NEXUS Compact」、ST2110やNMOSをサポートする「DirectOut Technologies PRODIGYシリーズ」等を展示



クロスイメージングは、気象・防災情報の作画および送出をする各種システムを展示。3D気象情報作画システムは、気象庁や民間気象会社から送られてくるGPVなどの気象データを解析し、放送送出向けの各種気象画面(動画・静止画・連番静止画)を作成する



エーティエックは、超小型の平面アンテナ「SATCUBE」やハイエース車両SNG中継車を展示。SNGデモカーには、リチウム電源システムを搭載した



銀座十字屋 ディリгент事業部は、Angelbirdのプロ向けメモリーカードやRotolight製LEDライト、SHIMBOL製無線モニター、録画モニター等を展示



新設のテレビ西日本スタートアップ企業ゾーンでは、事業アイデアで選ばれた9社がブースを並べた



ジャパンマテリアルが展示したサイネージプレーヤー「BrightSignシリーズ5」は、4Kマルチ出力や8K解像度をサポート。Apantac社製KVM over IPエクステンダーは、送信器側接続のPCのKVMを、受信器側に取り付けたキーボード・ディスプレイ・マウスで遠隔操作



アストロデザインは、ST2110対応オーディオモニター、SRT伝送装置などのIP製品他、LG社製品から透過型ディスプレイを用いた立体表示システムをデモ



ビデオトロンは、省スペース・ローコストなSD対応ベリフェラル製品Vbusシリーズシステムを統一することで、動作ログの一括監視および制御ができ、安全なシステム構築と大縮小コストダウン実現を訴求



エージェーシーが展示したQuantum「Scalar i3」は、中規模のIT環境に適したテープストレージシステム。QNAPのU.2 NVMe PCIeエクスプレスGen4/シリアルATA SSDストレージ対応「TS-h1290FX」は、コスト効率が高いオールフラッシュNAS



テレビ朝日クリエイトは、放送で培った技術から開発したハイブリッドテロップシステム「mashup」、AI生字幕制作システム「J-TAC Pro」を出展



スタジオイクイPMENTはHOLLYVOXから、ヘッドセットに環境ノイズキャンセリング技術を搭載したワイヤレスインターカム「G51」などをデモ



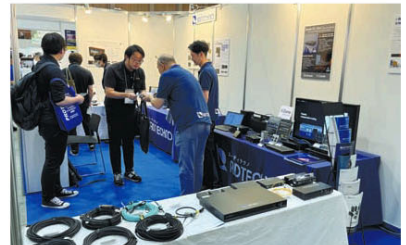
ストロベリーメディアアーツは、会場内最大級ブースの一角に、バーチャルプロダクションで採用が進むAO TO製1.5mmピッチLED「RM1.5E」を展示



ストロベリーメディアアーツは、省エネルギーで全体的な電気消費が抑えられるメッシュLEDも展示(右奥)。メッシュ構造により風や光を通すことができ、建物の自然な採光や通気を妨げない



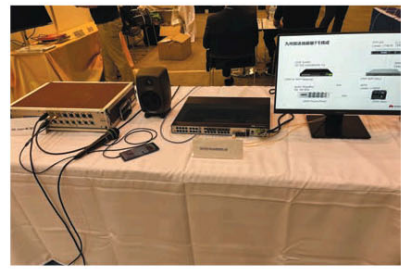
アプコットは、遠隔監視・制御システム「Packet Caster (パケットキャスター)」を展示し、送信所や中継局内にある機器・設備を一元監視するデモをした



エーティエックは海外で先行発売したDante AV Ultra Encoder/Decoderを展示。1GbE ネットワーク経由でロスレス4K Ultra HDビデオと超低遅延IPストリーミング、ProAV に最適化されたColibriコーデックにより、ビデオとオーディオ同期を実現



エーティエックはロック式HDMI2.0対応ケーブルも参考展示。ワンタッチで着脱できる。最大4K60Hz対応、最長100m伝送



ネットワークスイッチをデモした華為技術日本(ファーウェイ)は、Media Over IPにおけるオーディオネットワークのあり方がテーマ。セミナーでは、ST2110環境下のビデオ機器とオーディオ機器の特性を解説